

伝えたい

戦後79年 過去から未来へ

伝えたい記憶と言葉

柳平啓明さん 85

茅野市豊平

あれから79年。
あなたはどんな戦後を過ごしてきましたか？

誰かに伝えたい体験や思いはありませんか？

8月15日で終戦から79年を迎えるに当たり、戦争の体験談を募集したところ、諏訪、上伊那地域から貴重な原稿をお寄せいただきました。

それぞれの文章を拝見し、戦争の記憶や思いを次世代に継承すること、とりわけ同じ地域に暮らす方々の言葉に触れることが、未来を思い、次の危機に備えることにつながるのの思いを改めて強くしました。

皆さまのご協力を深く感謝を申し上げ、本日より、紙面で文章を紹介させていただきます。

わら半紙1枚の通知表

1939(昭和14)年生まれは、190万人であった。私は

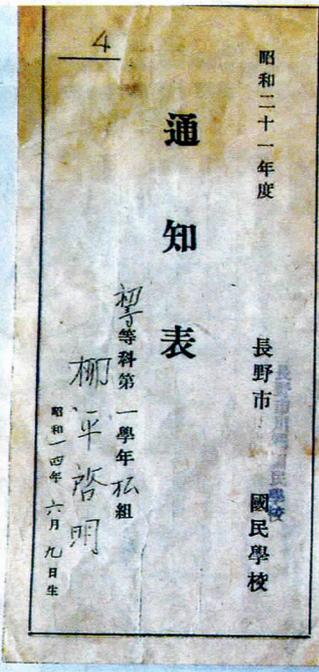
2024(令和6)年85歳となる。



柳平啓明さん

国民学校(1941(昭和16)年4月)1947(昭和22)年3月迄)初等科6年・高等科2年。1946(昭和21)年4月、私は長野市七瀬に住し、川端国民学校初等科に入学した。校内校庭はひどく荒れていてこれが

身長		体重		胸囲		腕囲		足囲	
身長	体重	胸囲	腕囲	足囲	身長	体重	胸囲	腕囲	足囲
108.0	110.0	54.3	55.7	18.2	17.9	198.0	110.0	54.3	55.7
114.2	114.9	56.8	57.5	20.0	19.8	114.2	114.9	56.8	57.5
119.1	120.0	58.7	59.3	22.1	21.8	119.1	120.0	58.7	59.3
123.6	124.5	60.6	61.0	24.3	23.9	123.6	124.5	60.6	61.0
128.2	129.0	62.6	62.7	26.5	26.6	128.2	129.0	62.6	62.7
132.7	133.3	64.5	64.8	29.0	28.3	132.7	133.3	64.5	64.8
136.9	138.1	66.7	65.6	31.8	31.1	136.9	138.1	66.7	65.6
142.7	143.9	69.6	70.4	35.8	35.9	142.7	143.9	69.6	70.4
147.9		72.8		38.9		147.9		72.8	
107.9	108.6	53.2	58.7	17.6	17.3	107.9	108.6	53.2	58.7
112.9	114.5	55.0	55.4	19.4	18.2	112.9	114.5	55.0	55.4
118.0	118.9	56.9	57.2	21.4	21.6	118.0	118.9	56.9	57.2
122.7	123.7	58.7	59.4	23.6	23.1	122.7	123.7	58.7	59.4
128.1	129.0	60.8	61.0	26.1	26.2	128.1	129.0	60.8	61.0
132.8	133.7	63.6	63.7	29.4	28.8	132.8	133.7	63.6	63.7
137.6	138.9	66.3	66.8	33.1	32.1	137.6	138.9	66.3	66.8
142.7	144.5	69.7	70.6	37.6	37.3	142.7	144.5	69.7	70.6
144.4		71.8		40.2		144.4		71.8	



学校か?と云うほどの印象がいまだに残る。実は敗戦の色濃い1945(昭和20)年、東部第11部隊長野師管区歩兵第一補充隊が設置され駐屯。仕事は松代大本営の建設に従事。

1945年(昭和20)年8月13日、「長野空襲」が七回にわたりに行われた。午前四時十五分、茨城県鹿島沖にいたアメリカ空母「ハンコック」から艦船機十二機が飛び立ち、午前六時三十分から、途中で空母「ベントン」からの艦船機も加えて九時十分から十機、十二時から十一機、十三時三十分から四機、十三時四十五分から十一機、十四時十五分から四機、十五時二十二分から十機の合計六十二機の艦船機で断続的攻撃を加え、この空襲で長野飛行場・傷痍軍人長野療養所・上田飛行場・長野機関区等が攻撃を受け、死者47人・負傷者54人・家屋全壊62戸・半壊28戸、罹災者350人をだした。ちなみに我が家のガラス戸も爆風で割られ長い間障子紙が貼られていた。私達は母と共に豊平村の実家に疎開していた。父は1943(昭和18)年11月応召。北支(中国北部)装甲列車隊入隊・終戦。1946(昭和21)年5月4日、佐世保上陸。5月8日帰宅。父は復員したが、父の弟はニューギニアで、母のすぐ下の妹の夫は子供2人を残しヒイリピンで戦死。

さて、1947(昭和22)年4月、新教育制度により国民学校から小学校に変わり、6・3・3制になった。川端国民学校も新制中学校になったため、私は隣の芹田小学校二年に編入した。小学二年の教科書は、新聞半紙を配られB5版くらいに折り、糸で閉じての教科書。通知表はわら半紙一枚であった。

参考資料「敗戦後6年間の生活」長野県史「その他」
※お寄せいただいた原文を尊重して掲載しました。